

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課
				課長名	須田 内線 2520

関連部課名	総務企画部総務企画課
-------	------------

行政評価	分野	V	文化創造都市
事業体系	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進

目的	全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。 海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。
----	--

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		3年度	4年度	5年度			
指	① 地域への愛着	2. 92	2. 87	2. 89	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	② 文化的寛容性	2. 66	2. 66	2. 68	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
	③						
	④						
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			3年度	4年度	5年度	6年度見込み	
	① 交流事業実施都市数	14	23	38	38	38	交流事業を実施した都市数
	② 国内交流都市との連携事業数(事業)	15	21	35	35	35	各課で実施している国内交流都市との連携事業数
	③ 通訳ボランティア登録言語数	15	16	17	18	20	ボランティアにより通訳できる言語数
	④ 海外都市交流事業参加者数(人)	6	49	255	280	320	区民と外国人が相互交流する事業の合計
	⑤						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
行政費用	給与関係費	34,961	37,473	2,512	地方税等	0	0	0
	物件費	1,996	5,307	3,311	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	2,834	7,375	4,541	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	710	2,000	1,290
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	710	2,000	1,290
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,550	2,305	755	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 40,631	▲ 50,460	▲ 9,829
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	41,341	52,460	11,119	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 40,631	▲ 50,460	▲ 9,829
貸借対照表	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 40,631	▲ 50,460	▲ 9,829
貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,471	1,959	488
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
					賞与引当金	1,471	1,959	488
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	15,520	16,068	548
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	15,520	16,068	548
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	16,991	18,027	1,036
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 16,991	▲ 18,027	▲ 1,036
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 16,991	▲ 18,027	▲ 1,036
	その他の固定資産	0	0	0				
	資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用としては、感染症の影響で4年度まで中止してきた事業を再開したことに伴い、物件費（主に需用費・委託料・使用料等）、補助費等（国際交流協会での事業に係る支出）が増加している。
- また、補助費等には北海道釧路地域・東京特別区交流推進協議会への負担金支出も含まれる。
- 行政収入のその他については、特別区長会からの補助金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○国内都市交流及び特別区全国連携プロジェクトでは、感染症の影響により中止してきた事業が令和5年度以降再開している。 ○海外都市との交流についても、感染症の影響により中断していたが、各交流都市と調整を進め、事業を再開している。 ○区内の在住外国人支援については、ボランティアの協力のもと、日本語教室・日本語サロンを運営するとともに、日本人と外国人の相互交流事業や、防災訓練など、各種事業を再開している。
課題	○国内交流都市や特別区全国連携プロジェクトにおける交流自治体と調整を図り、区民にとって交流都市がより身近に感じられるような交流事業の内容を検討する。 ○海外都市交流については、区民へより一層海外交流都市への関心を広めるために、国際交流協会の事業などを通し、海外交流都市のPRに努める。 ○日本語教室・サロンなど、需要が高い事業については、一人でも多くの外国人が参加できるように関係者と調整を行い、事業内容の充実を検討する。
今後の方向性	○「特別区全国連携プロジェクト」のつながりを活用し、事業の実施内容等について検討しつつ、区内でのイベント開催や地域住民相互の交流等を通じて、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を推進する。 ○「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。 ○友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。 ○国内交流都市との交流事業については、交流都市の状況や意向を踏まえ、相手方と協議を実施し、区民にとってメリットのある内容を検討する。 ○海外都市との交流事業については、交流事業の中で荒川区の文化や産業をPRするとともに、国際交流協会の事業を通し、より多くの区民に対して国際理解の普及啓発に務める。 ○日本語教室・サロンは、より多くの外国人を受け入れられるよう、講師・ボランティアと協力し、外国人へのサポートを行う。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10	3,119	5,831	630	2,001	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、推進する。
国内都市交流事業	05-01-03	14,643	16,304	1,191	4,034	重点的に推進	重点的に推進	区民・交流都市相互にメリットがある交流事業を実施することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、災害時における相互応援強化を図るために重点的に推進する。
国際交流協会補助	05-01-04	14,201	18,096	2,603	4,882	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要があるとともに、在住外国人支援事業を重点的に推進する。
海外都市交流事業	05-01-05	9,378	12,230	8,439	10,217	推進	推進	海外友好都市との交流は国際理解や文化交流のために大きく貢献する事業であり、対面での交流を中心として相互の交流実施を推進する。
合 計		41,341	52,461	12,863	21,134			